

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数のポイント (平成21年3月31日現在)

総務省自治行政局市町村課

○全国の人口は、1億2,707万6,183人

○全国の人口は、2年連続で増加

(調査開始(昭和43年～)以来、平成18年に初めて減少したが、その後連続増)

- ・ 1億2,706万6,178人 → 1億2,707万6,183人 対前年 1万5人増
- ・ 自然増加数(出生者数－死亡者数)は、増加傾向にあった出生者数が再び減少に転じ(10万8,488人)、死亡者数(113万4,402人)は調査開始以来最高となる。
- ・ 転入者数及び転出者数はそれぞれ調査開始以来(昭和43年～)最も移動が少なかったものの、全体として社会増加数はプラス

○市部(特別区を含む。)の人口割合が、全国の人口の約9割

- ・ 市部 1億1,410万3,439人(89.8%)
- ・ 町村部 1,297万2,744人(10.2%)

○三大都市圏(東京圏、名古屋圏及び関西圏)の人口が、過去最高を記録

- ・ 昨年(50.20%)に引き続き、全国人口の半数を上回る(50.37%)

○人口増加数、人口増加率ともに東京都がトップ

- ・ 8万6,062人 0.69%の増加

○全人口に占める年少及び生産年齢人口の割合は調査開始以来(平成6年～)毎年減少し、老年人口の割合は毎年増加

- | | | | |
|----------|-----------|--------|--------------|
| ・ 年少人口 | (0歳～14歳) | 13.54% | (調査開始以来毎年減少) |
| ・ 生産年齢人口 | (15歳～64歳) | 64.25% | (") |
| ・ 老年人口 | (65歳～) | 22.21% | (調査開始以来毎年増加) |

○町村部での全人口に占める老年人口の割合は、過去最高の25.66%(昨年は25.10%)

○世帯数は、調査開始(昭和43年～)以来毎年増加

- ・ 5,232万4,877世帯 → 5,287万7,802世帯 対前年 55万2,925世帯増

○1世帯の平均構成人員は、調査開始以来(昭和43年～)毎年減少

- ・ 2.43人/世帯 → 2.40人/世帯 対前年 △0.03人/世帯